

2021 年度活動報告書

特定非営利活動法人 P. I. E. GROUP. SANDA

1. 活動の成果

「がん罹患者数が少ないまち三田（兵庫）」に近い将来に現実になるように、私たちは2018年以来取り組んできた「(1) がん予防の教育と普及事業」と「(2) がん患者や家族を対象とする相談、助言事業」を継続し、4回目となる「Pink Ribbon Day in SANDA」ならびに「キャンサー・ピア・サポート」を開催しました。

新たに「(3) がん患者や家族を対象とする相談、助言に関するサポーター養成およびセミナー事業」として大和証券福祉財団 第27回ボランティア活動助成活用事業として「キャンサー・ピア・サポーター養成セミナー」を全4回開催しました。

「キャンサー・ピア・サポーター養成セミナー」の成果として News Letter を「病の綴り方講座作品集」「キャンサー・ピア・サポートの 社会的役割とその意義」2号作成しました。ブログによる情報発信も継続しています。ブログのフォロワーは140名を越えました（2021年3月時点）。

2. 特定非営利活動に係る事業

(1) がん予防の教育と普及事業

① すべての女性にピンクリボンを！ Pink Ribbon Day in SANDA 2021 乳がんを知り、考える日

この催しは10月に世界中で開かれている乳がん予防月間（ピンクリボン月間）にちなみ、女性やそのご家族が健康で豊かな生活を過ごすために、乳がんについて知り、また考えるための集いです。

4年目を迎えた今回は、3名の専門家による講演を行いました。また、新たな試みとしてZOOMによるオンライン聴講も可能としました。

① 京都医療センター 乳腺外科診療科長 加藤先生

「2019年版 患者さんのための乳がん診療ガイドラインから」というタイトルで女性の多くが知りたい、知っておきたい乳がんにならないための一次予防のお話。

② 三田市屋敷町ある澤外科院長 栗根先生による

「家で過ごすという選択：在宅医療について」というタイトルで、がん患者には、まだまだなじみのない、在宅医療についてのお話。

③ キャリアコンサルタントによる、乳がん体験発表「乳がんの治療と仕事の両立について」乳がんになっても私らしく前向きに明るくイキイキと生き働くコツ、治療と仕事の両立についてキャリアコンサルタントの視点から体験を交えながらのお話し。

参加者アンケート 29名の方に回答いただき、自由意見では以下のようなご意見をいただきました。

(抜粋)

- とても勉強になりました。お話がわかりやすく、楽しく聞かせていただきました。
- 質疑応答、わかりやすかった。ホルモン治療の質問に対してのお答えとても参考になりました。
- 三部ともに内容が違い、どれも興味ある内容で充実してよかったです。どの講演も心に残ります。
- 真剣に病に対して考えて下さる、患者のQOLを考慮できる医師先生方の話。
- ピンクリボンの活動に初めて参加しました。乳癌学び、住居地の三田での在宅医療を知れました。
- 加藤先生、栗根先生の講演会もよかったです。医学というのは、まずはお人柄からなんだとも、思えました。

すべての女性にピンクリボンを！

Pink Ribbon Day in SANDA 2021
Breast Cancer Awareness
乳がん防止

乳がんを知り、考える日

Zoom
オンライン
聴講可

開催日時: 2021年10月3日(日)
13:30~17:00(開場 13:00)

定員: 会場 50名・Zoom 50名(先着順 事前申込み必要)

開催場所: 三田市まちづくり協働センター (三田駅前キッシーモール6F)

申込み・問合せ: メール pinkribbon@piesanda.jp 電話 070-5664-2060

※参加費は無料、会場費、電話費、メール代などは、参加者の方負担となります。

詳細: <http://www.piesanda.jp/>

主催: NPO法人 P. I. E. GROUP SANDA
後援: 三田市・がん在宅医療ネットワーク三田、三田市・三田市社会福祉協議会
協賛: Heart Center 心臓血管・腎臓学 三田クリニック、English Center SANDA
協賛: 三田市屋敷町にある澤外科、三田市立総合市民センター、三田市立図書館

講演者: 加藤 大典 氏 (京都医療センター 乳腺外科診療科長) / 栗根 雅章 氏 (澤外科 院長)

- 実際に乳がんに関わり立ち向かう体験談の話は、今、その状況にはありませんが、病気になった時、人としてどう考えていくのか為になりました。
- 常に心のどこかに再発・転移への不安があります。理解し合える人たちがいることの安心感を持ちました。
- 何より乳がん体験談のお話、胸の奥にぐっときました。ありがとうございました。
- 体験談の前向きな話に感銘を受けました。いつも前向きで素敵ですが、本当にすごいです。泣きそうになりました。
- 自分の体験談を堂々と話される姿すごいなあと思いました。とてもわかりやすかったし、乗り越えてきた気持ちもいっぱいあるんだろうなあと感じました。でも、そんなに深刻に感じさせない凄さや強さがあるなあと思いました。
- 体験発表素晴らしかったです。辛い思いいっぱいしてきたのに、強いつて思いました。

実施日時	2021年10月3日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 多目的ホール Zoomによるオンライン
参加人数	62人(オンライン12人)
参加料収入	0円

実施日時	2021年10月31日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 講座室 Zoomによるオンライン
参加人数	16人
参加料収入	0円

②News Letter 発行

地域コミュニティの健康福祉向上を目的とし、病気の予防(Prevention)、介入(Intervention)、教育(Education)を提案する情報誌として不定期に発行しホームページ上で公開と協賛店舗、近隣病院、三田市公共施設での配架及び希望者へ郵送しています。

No. タイトル	Vol.7 「心の健康」とは何か？ 相模原障害者殺傷事件が問いていること	Vol.8 「第二回 キャンサー・ピア・サポーター養成セミナー“病の体験”綴り方講座」作品集	Vol.9 「2021年度 キャンサー・ピア・サポーター養成セミナー」キヤンサー・ピア・サポーターの社会的役割とその意義」	Vol.10 「乳がん」についてのご質問にお答えします！
発行日時	2021年9月1日	2021年10月3日	2021年12月31日	2021年2月1日
発行部数	600部	1000部	500部	1000部
収入	0円	0円	0円	0円



(2)がん患者や家族を対象とする相談、助言事業

①がん患者とご家族のためのキャンサー・ピア・サポート

病気に対する悩みや不安、しんどさなど、心の疲れ（ストレス）を軽減し、前向きに毎日を過ごす。病気のストレスと上手に付き合うために気分転換の時間です。がん疾患を持つ方やそのご家族、ご友人を対象にした集まりです。病気に対する悩みや不安、しんどさについて、共に考え話し合い、語り合える場所、情報やヒントを得られる場所としてキャンサー・ピア・サポートを開催しています。

当法人主催の「キャンサー・ピア・サポーター養成セミナー」全課程を修了したメンバー5名が当法人公認ピア・サポーターとして活動を開始しました。

実施日時	2021年4月18日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 会議室5
参加人数	6人
参加料収入	0円

実施日時	2021年6月20日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 会議室5
参加人数	4人
参加料収入	0円

実施日時	2021年7月18日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 会議室5
参加人数	6人
参加料収入	0円

実施日時	2021年9月19日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 会議室5
参加人数	5人
参加料収入	0円

実施日時	2020年12月20日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 会議室5
参加人数	7人
参加料収入	0円

実施日時	2021年10月17日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 会議室5
参加人数	4人
参加料収入	0円

実施日時	2021年11月14日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 会議室5
参加人数	4人
参加料収入	0円

実施日時	2022年1月16日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 会議室5
参加人数	8人
参加料収入	0円

「キャンサー・ピア・サポート」参加者募集

病気に対する悩みや不安、しんどさなど、心の疲れ（ストレス）を軽減し、前向きに毎日を過ごす。病気のストレスと上手に付き合うために気分転換の時間です。がん疾患を持つ方やそのご家族、ご友人を対象にした集まりです。病気に対する悩みや不安、しんどさについて、共に考え話し合い、語り合える場所、情報やヒントを得られる場所としてキャンサー・ピア・サポートを開催しています。

家や病院では話せない気持ち・聞けないことを話してみませんか？

日時 毎週月曜または金曜日 14時～16時（年曜日は15時～17時）
 場所 三田市まちづくり協働センター 会議室5
 参加費 がん患者やご家族のための支援活動費 200円
 申し込み 2021年10月17日（土）まで
 申し込み先 三田市まちづくり協働センター 会議室5
 お問い合わせ 079-364-2666（受付時間：9時～17時）

会場内でお約束いただくこと

- ・参加費は必ずお持ちください。
- ・参加費は必ずお持ちください。
- ・参加費は必ずお持ちください。
- ・参加費は必ずお持ちください。
- ・参加費は必ずお持ちください。

実施日時	2022年2月20日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 会議室5
参加人数	4人
参加料収入	0円

実施日時	2022年3月20日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 会議室5
参加人数	4人
参加料収入	0円

(3)がん患者や家族を対象とする相談、助言に関するサポーター養成およびセミナー事業

地域社会における人の健康と安心を実現するための重要な課題として、「教育」、「相談、助言」事業を担う有為な人材の確保と組織全体のスキルアップとして、今年度は「がん患者・ピア・サポーター養成セミナー」を全4回開催しました。

実施日時	2021年5月23日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 多目的ホール
内容	<p>第一回 ピアサポート入門編 ― 相手に寄り添うこと ―</p> <p>講師：小澤 和夫 氏（吹田ホスピス市民塾 会長）</p> <p>医療者にも家族にも話せない様々な悩みをお持ちのがん患者さんに気持ちや考え方を整理して頂くためには、ピア・サポーターは、ひたすら相手の話に耳を傾け、適切な情報の捉え方や直面している事態の考え方を示すコミュニケーションの技術が必要になる。このセミナーでは、主に厚労省の「ピア・サポーター養成テキスト」を活用しながら、相手に寄り添うことの意味や、コミュニケーションのエッセンスを講師と共に学んだ。</p>
参加人数	25人（オンライン参加 9人）
参加料収入	0円

実施日時	2021年8月11日（水）
実施場所	三田市まちづくり協働センター 多目的ホール
内容	<p>第二回 “病の体験” 綴り方講座</p> <p>講師：橋口 丈志 氏（清風学園 読書・論文指導部 主事）</p> <p>このセミナーでは、正岡子規の作品解説を通して、病の体験を綴ることの意味と意義について学んだ。また講師による作品の添削を通じて、不安で捉えどころのない経験を見つめ直し、その都度の病の体験を生き方や人間関係といった広い文脈のなかで捉え直す時間をもつことができた。語ったり、聴いたりするなど音声に依拠するコミュニケーションとは異なり、書き上げた作品を共有することも活動の持続可能性と相互理解に繋がったと感じられた。</p>
参加人数	14人
参加料収入	0円

実施日時	2021年11月28日（日）
実施場所	三田市まちづくり協働センター 多目的ホール
内容	<p>第三回 がんと就労</p> <p>講師：桜井 なおみ 氏（株式会社がん患者・ソリューションズ 代表取締役）</p> <p>生産年齢人口のうち3人に1人ががんに罹患する可能性がある現代では、罹患後に多くの方が就労の継続や条件に関して様々な問題をお持ちになることから、がんと就労に関する社会的背景や基本的な対処法を学べたことは、当事者としても、また市民としても有意義であった。また、それを踏まえ、病と向き合いながら働くことの意義や意味、難しさや可能性について考え、意見を共有することができた。</p>
参加人数	24人（オンライン参加8人）

参加料収入	0円
実施日時	2021年12月19日(日)
実施場所	三田市まちづくり協働センター 講座室
内容	<p>第四回 ピアサポートの社会的役割とその意義</p> <p>講師：小澤 和夫 氏 (吹田ホスピス市民塾 会長)、橋口 丈志 氏 (清風学園 読書・論文指導部 主事)、横田 親 氏 (三田市市民活動推進プラザ)</p> <p>このセミナーでは、年間を通じて学んだことを手掛かりに「がんと共生できるまちづくり」のために必要なこと、そして市民としてできることや望むことを受講生に発表して頂き、それを踏まえて講師からの講評を頂いた。セミナーを総括するとともに、がんに罹っても安心できる地域社会のあり方について、共に考える時間を共有することができた。</p>
参加人数	16人(オンライン参加1人)
参加料収入	0円

4. その他(外部団体とのつながり)

(1) ラジオ出演(ハニーFM)

偶数月の最終火曜日に出演しています。

今年度は4回出演しました。Pink Ribbon Day 講演いただいた、加藤先生、栗根先生にもご出演いただきました。

実施日時	2021年8月31日
実施場所	ハニーFM 第一スタジオ
内容	<p>前半：P. I. E. GROUP. SANDA について</p> <p>後半：今後のイベント告知</p>

実施日時	2021年10月28日
実施場所	ハニーFM 第一スタジオ
内容	<p>前半：10月3日開催 Pink Ribbon Day 報告</p> <p>後半：がんセンター・ピア・サポーター養成セミナー</p>

実施日時	2021年12月28日
実施場所	ハニーFM 第一スタジオ
内容	在宅医療の話(出演協力：澤外科 栗根雅章先生)

実施日時	2022年2月22日
実施場所	ハニーFM 第一スタジオ
内容	乳がん検診の話(出演協力：京都医療センター 加藤大典先生)

(2) アステラス製薬

実施日時	2021年12月15日
実施場所	オンライン
内容	ピアサポート研修受講(1名)

3. 事業実施体制

(1) 会議に関する事項

① 通常総会 4月

開催日時	2022年4月18日 16:00~17:00
実施場所	三田市まちづくり協働センター 会議室5
出席者	8名(うち表決委任者5人 ※正会員総数10人)

②理事会・定例会 年6回

開催日時	2021年9月19日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 会議室5
議事内容	1: キャンサー・ピア・サポート 報告 2: 助成金 3: Pink Ribbon Day2021 3: 第3回 キャンサー・ピア・サポーター養成セミナー 5: News Letter Vol.8 6: ハニーFM 出演 (10/26) 7: その他 8: 次回 定例会

開催日時	2021年10月17日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 会議室5
議事内容	1: キャンサー・ピア・サポート 報告 2: 助成金 3: Pink Ribbon Day2021 ふりかえり 4: 第3回 キャンサー・ピア・サポーター養成セミナー 5: ハニーFM 出演 (10/26) 6: その他 7: 次回 定例会

開催日時	2021年11月14日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 会議室5
議事内容	1: キャンサー・ピア・サポート 報告 2: 第4回 キャンサー・ピア・サポーター養成セミナー 5: News Letter Vol.9 6: ハニーFM 出演 栗根先生 (12/28) 7: その他 8: 次回 定例会 (12月はお休み)

開催日時	2022年1月16日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 会議室5
議事内容	1: キャンサー・ピア・サポート 報告 2: News Letter Vol.9、10 状況 3: 2/22 ハニーFM 出演 4: 次回 定例会

開催日時	2022年2月20日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 会議室5
議事内容	1: キャンサー・ピア・サポート 報告 2: News Letter Vol.9 状況 3: 2/22 ハニーFM 出演 4: 2022年度事業計画 5: 次回 定例会

開催日時	2022年3月20日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 会議室5
議事内容	1: キャンサー・ピア・サポート 報告 2: News Letter Vol.9 状況

3：2022 年度事業計画 4：次回 総会（4/18 開催）

(2) 事務局体制

事務局長：西澤 真則

事務局スタッフ：エリス シェイーン

(3) 会員

①正会員 15 名

②賛助会員 4 名

③一般会員 7 名

活動計算書

2021年4月1日から 2022年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	10,000	
賛助会員・正会員受取会費	15,000	25,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	327,200	
資産受贈益(図書券)	5,000	
施設等受入評価益	80,100	
ボランティア受入評価益	913,152	
	0	1,325,452
3. 受取助成金等		
	0	
	0	
	0	0
4. 事業収益		
事業収益	0	
自主事業収益	0	
雑収入(テキスト送料)	2,160	
	0	2,160
5. その他収益		
受取利息	2	
雑収益	0	2
経常収益計		1,352,614
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
役員報酬	0	
給料手当	0	
ボランティア評価費用	913,152	
法定福利費	0	
人件費計	913,152	
(2) その他経費		
施設等受入評価益	80,100	
印刷製本費	114,611	
会議費	1,513	
旅費交通費	114,970	
通信運搬費	171,257	
消耗品費	23,651	
保険料	7,500	
支払手数料	2,435	
広告宣伝費	8,320	
交際費	142,274	
その他経費計	666,631	
事業費計		1,579,783
2. 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
印刷製本費		
会議費	1,008	
旅費交通費		
通信運搬費		
消耗品費	2,628	
保険料		
租税公課		
支払手数料		
雑費	3,600	
その他経費計	7,236	
管理費計		7,236
経常費用計		1,587,019
当期経常増減額		△ 234,405
III 経常外収益		
1. 過年度損益修正益		0
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
1. 過年度損益修正損		0
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		△ 234,405
法人税、住民税及び事業税		0
当期正味財産増減額		△ 234,405
前期繰越正味財産額		314,647
次期繰越正味財産額	△ 18,382	98,624

貸借対照表

2022年 3月 31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	98,624	
未収金	0	
棚卸資産（貯蔵品 図書券）	5,000	
前払金	0	
ボランティア活動助成金 特定資産	0	
流動資産合計		103,624
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
建物	0	
車両運搬具	0	
什器備品	0	
有形固定資産計	0	
(2) 無形固定資産		
ソフトウェア	0	
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
事業用指定預金	0	
差入保証金	0	
長期前払費用	0	
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		103,624
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	0	
前受金	0	
前受会費	0	
短期借入金	0	
流動負債合計		0
2. 固定負債		
長期借入金	0	
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	314,647	
当期正味財産増減額	△ 234,405	
正味財産合計		80,242
負債及び正味財産合計		80,242

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正NPO法人会計基準）によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は総平均法によっています。
- (2) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
施設の提供等の物的サービスを受入れは「3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」として注記しています。
- (3) ボランティアによる役務の提供
ボランティアによる役務の提供は、活動計算書に計上しています。また計上額の算定方法は、「2. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。

2. 施設の提供等の物的サービスの受入れの内訳

施設の提供等の物的サービスの受入れの状況は以下の通りです。

(単位：円)

内 容	金 額	算 定 方 法
三田市まちづくり協働センター利用料	80,100	三田市まちづくり協働センター市内標準使用料により算定しています。

3. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の状況は以下の通りです。

(単位：円)

内 容	金 額	算 定 方 法
定例会（4回×6人×2時間）議事録作成、会計処理、事務作業	44,544	単価は兵庫県の最低賃金によっています。
ホームページ、SNS等更新運営管理（6時間×12カ月）	66,816	単価は兵庫県の最低賃金によっています。
Pink Ribbon Day in SANDA 2020 イベントスタッフ（4時間×6人×2回）	44,544	単価は兵庫県の最低賃金によっています。
ピアサポーター養成セミナー イベントスタッフ（4回×4時間×6人）	89,088	単価は兵庫県の最低賃金によっています。
キャンサー・ピア・サポートスタッフ（2.5時間×11回×4人）	102,080	単価は兵庫県の最低賃金によっています。
チラシ・パネル等印刷物データ制作（8件×15時間+10時間）	120,640	単価は兵庫県の最低賃金によっています。
Newsletter 執筆、編集、校正、発送（4号×30時間×4人）	445,440	単価は兵庫県の最低賃金によっています。

4. 固定資産の増減内訳

固定資産はありません。

5. 借入金の増減内訳

借入金はありません。

6. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引はありません。

7. その他NPO法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

必要な事項はありません。

財産目録

2022年 3月 31日現在

(単位：円)

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	6,045		
普通預金 ゆうちょ銀行	92,579		
未収金	0		
棚卸資産 (貯蔵品 図書券)	5,000		
前払金	0		
ボランティア活動助成金 特定資産	0		
流動資産合計		103,624	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
建物	0		
車両運搬具	0		
什器備品			
パソコン 0台	0		
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア	0		
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
事業用指定預金	0		
差入保証金	0		
長期前払費用	0		
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			103,624
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0		
前受金	0		
短期借入金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			103,624